

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	坂倉 範昭
2. 研究課題名	愛知県がんセンター中央病院における肺全摘症例の検討:通常肺全摘, 導入療法後肺全摘, サルベージ肺全摘の比較, リスクと成績
3. 研究の目的・方法	局所進行肺癌に対する導入化学放射線療法後の肺全摘は根治的放射線(非手術)療法と比較して有効性は実証されていない。一方、近年では肺癌に対する非手術療法後の救済的(サルベージ)切除がさかんに議論されるが全摘症例は特に少ない。これらの術式はともにまれであるが、近年非手術治療の進歩に伴い全国的にもこれらの手術が話題になる機会が増えている。今回、当院の肺切除症例データベースから術前治療のない通常的全摘、術前導入療法後の全摘、根治的非手術療法後のサルベージ全摘を比較し、これらの術式について考察する。  研究期間:平成30年3月22日から平成30年12月31日(予定) (遺伝子解析:行わない)
4. 研究の対象となる方	1990年から2016年の間に当院において肺全摘術を受けた方
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名(            なし            ) 診療情報内容(周術期, 術後から現在まで臨床情報)

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。  
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。  
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室  
倫理審査委員会事務局

住所 : 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX : (052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)